

次世代の活躍を志す若者応援プロジェクト
JIDF『学生文化デザイン賞 2018』
グランプリは、守屋輝一さん(法政大学大学院)に決定！

アート、デザイン、建築、科学、文学、食、音楽など多彩な分野で活躍する専門家が、ジャンルを超えて多角的な視点から「文化をデザイン」するための活動を行う一般社団法人日本文化デザインフォーラム（理事長：水野誠一、以下JIDF）は、次世代を担う若者の支援を目的としたコンペティション、JIDF『学生文化デザイン賞 2018』（実行委員長：中島信也）のグランプリを決定するファイナリスト・プレゼンテーションを実施。その結果、守屋輝一さん（法政大学大学院）の「KOGA NEW LEGEND」がグランプリに決まった他、準グランプリ1名を下記のとおり選出しました。

グランプリの「KOGA NEW LEGEND」は、“世界的に希少な新島の「コーガ石」をコミュニケーションツールに、同島が抱える社会課題を解決する”というプロジェクトで、学生の枠を一步踏み出した発想や完成度の高さなどが評価され、この度の受賞に至りました。

■ **グランプリ（賞金 30 万円）**

作家名	在籍	出身地	作品名および概要
守屋 輝一 (もりや きいち)	法政大学大学院	埼玉県	「KOGA NEW LEGEND」 東京の離島、新島で採掘される世界的に希少な『コーガ石』。KOGA NEW LEGEND とは、島の社会問題と共に衰退の一途を辿る石文化の現状に対し、石を使用したプロダクトブランドを立ち上げ、文化の継承を目指すプロジェクト

■ **準グランプリ（賞金 10 万円）**

作家名	在籍	出身地	作品名および概要
桜井 成美 (さくらい なるみ)	長岡造形大学	新潟県	「積雪ショートケーキ」 小さな頃はみんな好きだったはずの雪が、気づけば嫌になってしまった大人たちのために。大変な雪国暮らしの中でも、心がちょっと軽くなれるような新しい視点の提案

JIDF「学生文化デザイン賞」は、さまざまな分野の第一人者が集う JIDF が、まさにこれからの時代に第一線での活躍を志す後進の育成を視野に今年創設。全国の学生を対象に「今考えている、進行しているクリエイティブなプロジェクトやコンセプト」を作品として幅広く募集し、一次審査（書類選考）を勝ち抜いた6名（うち1名辞退）のファイナリストが、応募内容についてのプレゼンテーションを行う二次審査（ファイナリスト・プレゼンテーション）に挑みました。

JIDF では、今後も若者たちの斬新なアイデアを発掘・支援する取り組みとして、「学生文化デザイン賞」の継続的な実施を目指してまいります。



グランプリを受賞した守屋輝一さん(右)と
実行委員長の中島信也(左)



『学生文化デザイン賞 2018』ファイナリストと
審査を行った JIDF 選抜会員

JIDF『学生文化デザイン賞 2018』ファイナリスト（6名）



桜井 成美（さくらい なるみ）

新潟県新潟市生まれ。長岡造形大学 視覚デザイン学科に在学中。物心ついた頃から人間観察が好きで、そのおかげもあり、人の心を動かすことができるモノやコトづくりが好きになりました。何かを作るときはいつも「ちょっとでも誰かをハッピーにする！」を大切にしている。



諏訪 葵（すわ あおい）

東京藝術大学大学院美術研究科油画第五研究室に在学中。化学反応や物理的な現象を、人間が視覚的・体感的に受け取るための仕掛けや、それらと出逢うための関係性を構築する装置、場、空間などを制作。



平出 和也（ひらいで かずや）

埼玉県川口市出身、21歳。大正大学3年次在籍。大学では放送や映像について学んでおり、仲間とともに企画をするところから映像制作を行う。授業外でもコンペ入賞を目標に自主映画を制作。現在はTVディレクターを目指し、日々精進している。



丸山 博子（まるやま ひろこ）

武蔵野美術大学在学。ボランティアとして参加した催事「活版 TOKYO」で活版印刷の世界に魅了される。活版印刷コワーキングスペース「Printworks Studio」のインターンを経て、現在、活版印刷スタジオ「EASTTOKYO STUDIO」にて制作補助を務める。



守屋 輝一（もりや けいいち）

1995年埼玉県生まれ。法政大学大学院システムデザイン専攻在籍。デザイン活動が、現代社会に内在する多様化・複雑化した問題に対して有効だと考え、クリエイション×テクノロジー×マネジメントの3つの領域を横断した総合デザインの視点から、プロジェクトに取り組む。



一戸 等（いちのへ ひとし） ※都合により辞退

御茶の水美術専門学校にて、「クリエイティブを利用した課題解決を目的としたビジュアルコミュニケーション」を研究。同研究内容と合わせグラフィックデザインを学び、クリエイティブディレクターを目指して勉強中。

JIDF『学生文化デザイン賞 2018』実施要項

- 名 称：JIDF『学生文化デザイン賞 2018』
- 主 催：一般社団法人日本文化デザインフォーラム（JIDF）
- 協 賛：株式会社博報堂／株式会社 AOI Pro.／株式会社丹青社／大日本印刷株式会社／株式会社テー・オー・ダブリュー／株式会社ティー・ワイ・オー／株式会社東北新社／凸版印刷株式会社／株式会社乃村工藝社／株式会社ムラヤマ
- 実行委員長：中島信也（CM ディレクター／JIDF 副代表幹事）
- 募集内容：今考えている、または進行しているクリエイティブなプロジェクトやコンセプト
例えば…「シャッター商店街再生デザインフェスティバル主催！」「世界を動かすすごいプログラムを開発した」「俺は音楽で世界をよくする方法を知っている！教えないけど…」などテーマやジャンルは自由。新たなイノベーションを創出するコンセプトを期待します。
- 応募資格：大学生、専門学校生（個人・グループは問わない）
- 応募方法：・JIDF ホームページ(<http://www.jidf.net/>)よりエントリーシート(応募要項記入ファイル)をダウンロード
・上記シートに必要事項(①氏名、②学校・学部・専攻名、③応募者のプロフィール、④プロジェクトタイトル、⑤連絡先)を記入の上、プロジェクトシート(下記参照)とともに、E メールで応募（応募先アドレス：jidf-gakusei@jimukyoku-moushikomi.jp）
<プロジェクトシートについて>
 - ・A4 サイズ横書き(3 枚まで)で、プロジェクト内容を分かりやすくまとめてください。A4 横書きであれば、表現方法(画像の添付等)は問いません。
 - ・Microsoft PowerPoint、Microsoft Word、PDF のいずれかの形式の電子ファイルにて作成し、総容量 3MB 以内で提出してください。
 - ・審査は、A4 原寸カラーにて出力して行います。文字の大きさや画像の解像度などにご留意ください。

※原則未発表のものに限ります（但し、既に発表されたものでもブラッシュアップされていれば可）
※内容に関して問い合わせる場合があります
※応募作品の返却は致しません
※応募の際に取得した個人情報、本件の審査および応募者への諸連絡以外には使用いたしません。一次審査通過者は、プロジェクト名、学校および氏名をイベント(二次審査)来場募集告知媒体等に掲載させていただきます。同意いただける方のみご応募ください
- 応募締切：2018年8月1日（水）必着
- 審 査：一次審査
JIDF 会員による書類審査を行い、ファイナリスト 6 名を選出
二次審査
11月16日（金）に、東京・西麻布のスーパー・デラックスにて、ファイナリスト6名(組)による各15分間のプレゼンテーションを行った後、JIDF会員による投票審査を経て、グランプリ 1 名を決定
- 賞 賞：グランプリ／賞金 30 万円、準グランプリ／賞金 10 万円
- 発 表：9 月中旬を目途に、一次審査を通過したファイナリスト 6 名に対して、二次審査の案内を通知。
最終結果は、11月16日（金）の決定をもって発表。

日本文化デザインフォーラムについて

日本文化デザインフォーラム（Japan Inter-Design Forum /JIDF）は、アート、デザイン、建築、科学、哲学、文学、評論、伝統芸能、都市計画、写真、食、音楽、映像など、多彩な分野の先端的な活動をしている専門家約 100 名が自発的に集まった任意の団体です。それぞれの専門ジャンルの垣根を超えて会員相互で交流・啓発しあうことで、これまでにない発想を生み出し、多角的な視点から日本及び世界の「文化をデザイン」することを目的に活動しています。

1980 年の設立（旧組織名称：日本文化デザイン会議/～1989 年）以来、国内の主要都市で 30 回を超えるフォーラムを開催してきました。2011 年 8 月からは「一般社団法人日本文化デザインフォーラム」として新たにスタート。本フォーラムの発起人である建築家・黒川紀章の七回忌にあたる 2013 年より、「INTER-DESIGN FORUM TOKYO」を毎年開催。2016 年からは、INTER-DESIGN FORUM TOKYO「Carpe diem＝今を摘め」として展開し、各界の第一線で活躍されている方々の“今”を語っていただくトーク&プレゼンテーション（T&P）を通じて、さまざまな分野を牽引するプロフェッショナル達のメッセージを発信し続けています。

©日本文化デザインフォーラム事務局：03-6441-0762（平日 10:00～17:00）